

西 ～にし～

Good News 特集号

■八王子桑志高等学校「写真家 前田真三氏の代表作を展示」

写真家・前田真三氏の代表作『麦秋鮮烈』を常設展示へ

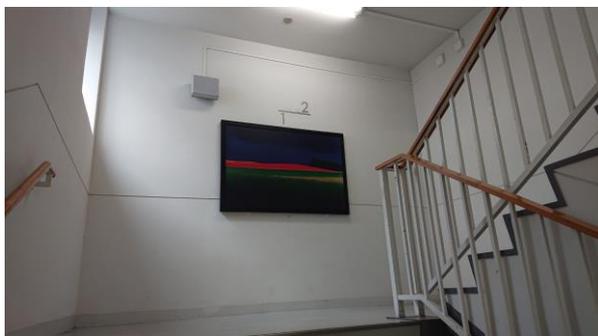
—前田真三氏は、本校前身の東京府立織染学校の卒業生—

「拝啓 麦秋の候 すっかり季節は初夏、夏らしい日が続いております。」...「麦秋の候（ばくしゅうのこう）」、ご存じの方も多いと思いますが、これは、麦の穂が実り、収穫期を迎えた初夏のことを意味します。この時期、麦が熟し麦にとっての「秋」ということから名付けられた季語です。コロナ禍でも季節はいつもどおりです。すっかり夏らしく夏を超えの日が続くようになった先週、ようやく生徒たちも登校することができるようになり、6月4日（木）には、1年生のために、「入学を祝う学年集会」を行いました。

さて、非常事態宣言が出される前のことです。臨時休業を終えて、本校でも新入生を歓迎する準備をしていた3月下旬、本校の前身の東京府立織染学校（のちの都立八王子工業高校）の卒業生・前田真三氏の代表作である「麦秋鮮烈」を常設展示いたしました。

現在、本校の在校生をはじめ、多くの方々はコロナ禍にあって先の見えない不安等から気持ちも晴れない日々が続いていることと思います。本校では、このような状況下であっても先輩の作品をとおして、元気と大切な美に対する意識を持ち続けて欲しいと願っています。

(副校長 野路強)



生徒の目にとまるように階段の踊り場に設置↑



【前田真三氏プロフィール】

大正 11 年：八王子市下恩方町で生まれる。

昭和 10 年：東京府立織染学校色染科入学。

(現在の都立八王子桑志高等学校)

昭和 46 年：日本列島縦断撮影旅行を約 3 ヶ月かけて敢行。その帰路、美瑛・上富良野の丘と出会う

昭和 49 年：初めての写真集『ふるさとの四季』刊行。以後風景写真の分野に新しい作風を確立。日本写真協会賞年度賞、毎日出版文化賞特別賞など

昭和 62 年：北海道美瑛町に自らの写真ギャラリー・拓真館を開設

平成 10 年：逝去（76 歳）

【前田真三写真ギャラリー（常設展示）ご紹介】

八王子市 夕やけ小やけ ふれあいの里

東京都八王子市上恩方町 2030

電話 042-652-3072



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話 (管理課) (042) 527-6590

(経営支援室)

(042) 527-6980

ファクシミリ

(042) 527-6468